

地車大イベント 今津が参加

地域の発展へ、日々熱意

先月3日、大阪城公園にて、「だんじり祭 in 大阪城2013」が行われ、大阪府下から15基の地車が集まった。鶴見からは今津の地車が参加した。当行事は、大阪城の観光資源としての魅力を高めることを目的とし、有名建築家・安藤忠雄氏や大企業の経営者などが呼びかけ人となって、昨年からは開催されている。

先月3日、大阪城公園にて、「だんじり祭 in 大阪城2013」が行われ、大阪府下から15基の地車が集まった。鶴見からは今津の地車が参加した。当行事は、大阪城の観光資源としての魅力を高めることを目的とし、有名建築家・安藤忠雄氏や大企業の経営者などが呼びかけ人となって、昨年からは開催されている。

鶴見は地車に熱心な地域で、当行事には、鶴見から今津が参加した。日頃から、地車に関わる区民がどのような想いを持っているのか、当行事に参加した今津地車保存会・会長の田中良英氏に尋ねた。

鶴見では明治後期あたりから地車を曳いていたという話もあります。私たちは子どもの頃から地車囃子を聞いて育ち、今の子どもたちも、地車囃子を私たち同様に楽しんでくれています。地車は代々受け継いできた地域の

地車の象徴である地車囃子は、大阪城築城の際、工事をスムーズに進めるための音頭だったと言われ、地車の発祥の地は大阪城との説がある。当行事は、いずれ大阪市内に約80基ある地車を一

「鶴見では明治後期あたりから地車を曳いていたという話もあります。私たちは子どもの頃から地車囃子を聞いて育ち、今の子どもたちも、地車囃子を私たち同様に楽しんでくれています。地車は代々受け継いできた地域の

財産です。これからの後世にも、地域の財産となるよう、祭り当日までに何度も何度も寄り合い（会議）を重ね、子どもからご年配の方までが地車を楽しめるような工夫を常々考えています。地車を通じて、青少年の健全育成や、地域活動の活性化に少しでもお役に立てれば」と語ってくれた。

今津では約100人が保存会に所属。地車以外でも地域に貢献するために、様々な地域行事に参加している。

地車の象徴である地車囃子は、大阪城築城の際、工事をスムーズに進めるための音頭だったと言われ、地車の発祥の地は大阪城との説がある。当行事は、いずれ大阪市内に約80基ある地車を一

「鶴見では明治後期あたりから地車を曳いていたという話もあります。私たちは子どもの頃から地車囃子を聞いて育ち、今の子どもたちも、地車囃子を私たち同様に楽しんでくれています。地車は代々受け継いできた地域の

